

## 経営後継者研修だより

# ピークなんて通過点！ ～歴代で最高の期に～

## 自治会グラウンドルール決定！

### 最高 且つ 最大の学びを勝ちとるために！

経営後継者研修第46期生の自治会グラウンドルールが決まりました。自治会長を中心に、16名の研修生みんなで議論しながら、決めた46期生のグラウンドルールです。

グラウンドルールとは、46期のメンバーで決めるオリジナルルールであり、規律ある行動やみんなが成長するためのルールを設けることで、緊張感の緩みを抑えます。

研修期間、このグラウンドルールをみんなが意識し、体験することが望めます。そのことによって、46期生16名一人ひとりが最高且つ最大の学びを勝ちとれることを期待します。と同時に、その過程が歴代最高の期を創っていくことにつながっていくはずで



第46期 自治会グラウンドルール

### 第46期 自治会 副会長

46期自治会のテーマを「ピークなんて通過点～歴代で最高の期に～」と定めたのは、自分の限界を決めず成長し続けたいという思いがあったからです。今回の経営後継者研修に挑戦した背景には、もともと会社に入る予定ではなかったものの、家庭の事情で入社することになり、経営を体系的に学びたいという強い欲求がありました。副会長という立場は本来積極的に望むタイプではありませんが、自分の殻を破り、器を広げるための機会としてあえて引き受けました。研修中は会長を支え、特に振り返り会ではチーム全体の学びと成長につながる運営を意識しています。10ヶ月の研修を通じて、経営者としての基礎を確実に身につけ、将来の事業承継に向けた準備を着実に進めていきたいと考えています。(清宮 瑛介)

## 自社分析-自社沿革・経営理念分析発表-

11月6日(木)には、開講後、初めての自社分析発表

【自社沿革・経営理念分析】を行いました。

この実習のねらいは次の通りです。

『歴代経営者の思い、自社の歴史を知り、ヒト・モノ・カネだけでは、企業は成り立たないことを理解する。』

今回の分析テーマはねらいにもある通り、歴史と理念から自社を理解するという事で、今後様々な分析を行う上での土台を創る重要な分析テーマです。事前課題として研修前から現経営者にヒアリングし分析を行いながら進めた今回の自社分析。初の自社分析および発表という事で、事前の準備は悪戦苦闘の連続です。ただ、経営後継者研修第46期生にとって、改めて経営後継者として、自身の成長を勝ち取っていくのだと、強いマインドセットができた初の自社分析だったように思います。



自社分析発表の様子(発表者)



自社分析発表の様子(聴講者)

# 業務プロセス分析実習 ～企業活動の仕組みを理解する～

11月前半は、企業に赴き「業務プロセス分析実習」を実施しました。

(※なお、実習先は経営後継者研修卒業生の企業にご協力いただきました。)

本実習は、同じ目標・課題解決に向かって研修生全員が一丸となって取り組むことで、様々な成長が期待できるカリキュラムです。また、この実習のねらいは次の通りです。

**『実際の企業を対象として、各部門の事業活動の流れ、部門間の関連性等を調査・分析することを通じて、企業活動全体の仕組み把握する』**

今回本実習において、実習先企業の業務プロセスについて研修生16名を4グループに分けて実習を行い、それぞれの担当部署について社員の皆さんからヒアリング調査を行い、業務フロー図から見る強みや弱み、さらには問題点などを取りまとめていきます。そして、自分たちがヒアリングして調査も踏まえながら、実習報告と課題解決のための改善提案を行います。報告会では企業様より「短期間の実習でよく分析されていて、フロー図の完成度が高く驚いた。想定以上の成果だった。」とご講評をいただきました。



業務プロセス実習：現地報告会の様子



業務プロセス実習：現地での集合写真

## 自社分析発表（自社沿革・経営理念分析） / 業務プロセス分析実習 総括班長

自社の沿革と経営理念を改めて見つめ直す中で、私は社長である父に理念の背景を尋ねることに大きな葛藤がありました。家族としては関係が近い一方で、理念のようなナイーブな話題を聞くことに長く抵抗があり、正直に言えば恥ずかしさもありました。しかし、後継者として向き合うべきだと自分に言い聞かせ、覚悟を決めて深掘りを始めました。

対話を通じて、父が自身の貧しい生い立ちを背景に「誰よりも社員を幸せにしたい」という想いで会社を築いたことを知りました。その価値観こそ、私が必ず引き継ぐべき根幹だと強く感じています。今後は財務やリーダーシップなど経営の基礎を徹底的に学び、社員が安心して未来を描ける会社をつくる後継者として成長していきたいと考えています。(福山 諒)

業務プロセス分析では、統括班長として全体方針の整理と班同士の調整に注力しました。各班の分析レベルや作業負荷に差があり、統一したアウトプットへ導く調整は大きな負担でしたが、進行管理自体は計画通り進めることができました。一方で、深い議論に踏み込めなかった場面も多く、より主体性を引き出す関わりが必要だったと振り返ります。今回の経験は、自社での分析にそのまま応用できると感じており、部門長との関係構築を進めながら、より実効性のある改善につなげたいと考えています。(岩田 侑也)

## 広報委員の紹介

第46期生広報委員の3名です。(※右写真)「経営後継者研修だより」の執筆にご協力をいただきます。

「この研修だよりも歴代最高のものにする!」と、意気込みを語っておられます。

今後の第46期生「経営後継者研修だより」にご注目いただき、ぜひご一読ください。



◆ 第47期経営後継者研修 **受講申込を受付中です！**

東京校では、2026年10月1日（木）開講、第47期生の申込を受け付けています。

定員になり次第、募集を締め切ります。

ご受講を検討されている方は、お早めにお申し込み・お問い合わせください。

[経営後継者研修（東京校）](#)



## ◆ 経営後継者研修の資料請求・お問い合わせについて

研修の詳しい資料を送付いたしますので、希望される方は、以下のフォームから申請してください。

また、研修や施設をご見学いただけます。（事前予約必要）

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

[経営後継者研修 資料請求・お問い合わせ](#)

◆ 中小企業経営者・後継者のための事業承継セミナー **参加申込を受付中です！**

3月13日（金）に「中小企業経営者・後継者のための事業承継セミナー」を開催いたします。

本セミナーは、①専門家による事業承継のポイントの解説、②経営後継者研修卒業生による事業承継の現実についての講演、③経営後継者研修の概要説明の3部構成となっております。

参加費無料、オンライン参加も可能です。詳しくはこちら↓

[【無料】事業承継セミナー「中小企業診断士・税理士のダブルライセンスの講師が語る事業承継を成功に導くために押さえるべきポイント！」](#)

